



和の伝統と心

神前結婚式のしおり

常磐神社



このしおりには、挙式当日までにご準備いただくことがらや、結婚式の次第について書いてあります。どうぞお目通しいただきまして、挙式のイメージを思い描いてください。そして、不安や疑問があればお気軽にお尋ねください。

挙式の前に

収容人数

控え室・・・新郎方、新婦方各々約二十五名(媒酌人・家族・親族)

ご友人の方々は別室になります。

御社殿・・・上拝殿にご両家ご家族各々五名ずつ、下拝殿に総員約七十名(式場)

服装

新郎・新婦の衣装は和装・洋装どちらでも結構です。

スーツ、ワンピース等の平服でも結構です。

着付けのお部屋が必要な場合は、前もってお早めにお知らせください。

参列者

ご家族ご親族だけでなく、親しいご友人の方々もぜひお招きください。

参列者の更衣室が必要な場合は、前もってお早めにお知らせください。

撮影

写真・ビデオとも、挙式中の撮影は許可制となっております。

式を撮影をしたい場合は事前にお申し出ください。

式を厳粛に進行するため、開式前にカメラマンと打ち合わせを致します。

撮影業者の手配が必要な場合は、ご紹介いたしますので事前にお申し出ください。

葵コースの場合は記念撮影に能楽殿をご利用いただけます。

開式時刻

(原則として一日四組)

①午前十時②午前十一時三十分③午後一時三十分④午後三時

※挙式の所要時間は三十〜四十分です。

挙式初穂料

梅 三万円より

当社の基本となる挙式でございます。

一般的な式の流れて進行致します。

松 五万円より

〔梅〕の式次第に、巫女の舞(速神楽)と、

鈴鳴りのお破いが入ります。

参進時に朱傘をお使いいただけます。

(好天時のみ)

葵 七万円より

〔松〕のお式の、巫女の舞が『豊栄舞』になります。

鈴鳴りのお破いが入ります。

参進時に朱傘をお使いいただけます。

(好天時のみ)

ご両家に御神酒を一升ずつ撤下します。

『能楽殿』を開放し、撮影にご利用いただけます。

けます。

※雅楽の生演奏についてはご相談下さい。



式次第

式の進行は神職が行いますが、
おおむね次の通りに進めて参ります。

参集 控室は社務所内に、準備いたします。挙式の三十分前迄にご参集ください。皆さまがお揃いになりましたら、ご家族で親族紹介をお済ませください。開式前に式のあらましをご説明に参ります。

整列 お時間になりましたら、巫女が控室までご案内に参ります。社務所玄関前にご媒酌人・新郎・新婦ご家族の順にご整列ください。

参進 巫女の先導により参進いたします。

着席 ご神前に向かって、右側が新郎方、左側が新婦方のお席となります。お破いをいたします。ご列席の皆様はご起立ご低頭ください。

祝詞奏上 斎主が神前に結婚式の祝詞を奏上いたします。皆様はご起立ご低頭ください。

神楽舞・鈴祓 巫女によります神楽舞を奉奏し、鈴鳴りのお破いをいたします。
(松・葵)

三献盃の儀 三三九度の盃です。新郎・新婦はご起立のうえ盃をお受けになり、契りを結んでいただきます。盃は新郎から始め新婦で納めます。

誓詞奏上 新郎・新婦は神前に進み誓詞を奏上いただきます。文面は下欄をご参照ください。

指環の儀 指環の贈呈または取り交わしをされる場合は、当日ご持参ください。神前に玉串を供え拝礼していただきます。新郎・新婦ご媒酌人、

玉串拝礼 ご両家の代表の順にご拝礼ください。ご親族の方々にご両家代表に合わせてご拝礼いただきます。二礼二拍手一礼の作法で拝礼ください。

親族盃の儀 ご媒酌人のご発声によりまして、ご両家固めの盃をお酌み交わしいただきます。ご媒酌人をお立てにならない場合は、斎主が発声いたします。

斎主挨拶 滞り無く式が納められ、斎主より挨拶の後、記念品を贈呈します。順にご退席いただきます。

誓詞

式中にお読みいただく「誓詞」は当日お渡しいたします。

誓詞

今日の吉日に常磐神社の大前に於て
婚姻の式を行い夫婦の契を結び固むるは
尊き神慮に依る事と悦び奉り今より後
千代に八千代に相睦び相親しみ
かりそめにも夫婦の道に違ふことなく
互に扶けあいて家政を整え子孫の繁栄
を図るべき事を誓い奉る

年月日

新郎 (氏名)
新婦 (氏名)

予約方法

*ご希望の日時を
お問い合わせ下さい。

申込受付時間

午前九時～午後四時
電話〇二九一二二一〇七四八





常磐神社社務所

〒310-0033 水戸市常磐町1～3～1

電話 029-221-0748

FAX 029-221-0154

Eメール komonsan@po.sphere.ne.jp

ホームページ <http://komonsan.jp/>